

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成29年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	秋川溪谷戸倉体験研修センター	指定管理者	新四季創造株式会社
指定期間	平成27年10月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	観光まちづくり推進課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	313	164	52.4%	
	延べ利用者数 (人)	21,000	12,360	58.9%	
	事業開 催回数	必須事業：宿泊 (回)	60	45	75.0%
		自主事業：体験 (回)	55	18	32.7%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	21,990,000	10,995,000	50.0%
		利用料金収入 (円)	9,610,000	6,416,550	66.8%
		体験飲食等事業収入 (円)	9,780,000	6,278,485	64.2%
		その他の収入 (円)	0	48,583	-
	収入計 (円)		41,380,000	23,738,618	57.4%
	支出	人件費※ (円)	19,552,000	9,983,192	51.1%
		維持管理運営経費 (円)	16,123,000	5,824,711	36.1%
		その他の支出 (円)	3,705,000	2,499,368	67.5%
	支出計 (円)		39,380,000	18,307,271	46.5%
収支 (収入-支出) (円)		2,000,000	5,431,347	-%	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

【開館日数・利用者数について】 開館日数：164日・利用者数：8,610人 (貸出室利用者数：2,086人) (見学利用者数：1,664人) 延べ利用者数：12,360人	【事業の実施状況について】 体験事業は、農業体験 (前年比172%増)を中心に地域サポート協力者と連携し、各種体験事業を実施した。また、展示事業では、檜原小学校と協力し、地域の文化及び歴史を資産としてPRしながら集客に努めた。	【収支状況について】 弾力性ある勤務体制による雇用計画を実施し、適正に人件費を抑制した。また、実情に照らし合わせ、顧客サービスに伴う物品などを追加購入し、収入状況については、計画通り推移している。
--	---	--

所管課の評価 (指摘事項)

【開館日数・利用者数について】 平成28年度実績を踏まえた年間計画を立て、計画どおりに開館できている。H28年度夏季に利用した団体のリピーター率が高く順調に利用されている。	【事業の実施状況について】 農業体験の受入については平成28年度の実績から地元農家の理解が高まり、野菜の作付けも増え、受入体制も整い体験者数が増加している。地域と良好な信頼関係が築けている。	【収支状況について】 計画的な人件費の抑制に加え、サービスに伴う物品購入を積極的に行っている。収入については計画どおりに推移している。
--	---	---

※人件費には、自主事業である飲食に係る人件費を含む。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、申請書、台帳	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、申請書、台帳	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の整備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地、日報	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	電話による問合せ利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ、SNS	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	13～15人 人員配置計画	13人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 1回 適正・要改善	適正・要改善
	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	40% 人員配置計画	40% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている	社用就業規則	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている	個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている	保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている	事業報告書、日報	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる	日報、月報	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>指定管理を受け、2年目の管理運営に入ったところだが、上半期については開業来、利用者を受け入れた経験、ノウハウの蓄積により、「体験」、「宿泊」、「飲食」、「展示」の4つの事業柱を応用し、地域協力者と連携を深め、集客を図ってきた。体験事業では、収穫体験の人気が出始め、市内の幼・保団体、障がい者福祉支援団体以外にも市外の消防少年団など、多岐にわたる団体を受け入れてきた。宿泊した利用者の多くは、来年の予約をするので、30年度上半期の予約も増加している。スタッフの円滑なおもてなし及び柔軟な対応が利用者の満足度向上に繋がり、利用者数の増加へと反映されたと考えている。また、「日米親善人形（青い目の人形）」を地域の資産として管理し、展示PRしている。これに伴い5月の大型連休では1周年記念事業と合わせ、檜原村檜原小学校と協力したイベントを開催し、地域交流を図り誘客に努めた。このように、弊社の使命である地域及び団体・企業と連携を強化し、地域活性化の取組に企業努力している。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>平成28年度に利用した団体が平成29年度もリピーターとして利用している背景には、施設スタッフの対応や体験を受け入れた地域の方々の対応の良さが評価されていると考えられる。地域の資源を活用したイベントについても自ら企画し、集客の取組を行っている。下半期についても体験者を受け入れるにあたり、地域の方々と連携し、新たな体験メニューを検討するなど、地域の人を活かす施設となるような良好な関係を継続して欲しい。</p>